

第1回 十勝川千代田実験水路アドバイザー委員会概要

十勝川千代田実験水路 アドバイザー委員会を 7/30 に帯広で開催しました。

北海道開発局では、平成 19 年 4 月から運用を開始した十勝川千代田新水路の一部を、河川整備を進めていく上で解明すべき様々な技術的な課題に関する実験研究を行う大型模型実験水路として活用することとしています。

十勝川千代田実験水路アドバイザー委員会は、実験水路において実施する実験研究に関して、河川工学等の専門的な立場から以下に関して助言をいただくものです。

- 1) 実験研究の長期計画の策定・変更に関すること。
- 2) 実験研究の評価に関すること。
- 3) 活用研究者の選定に係ること。

このたび、第 1 回のアドバイザー委員会を、帯広において下記の内容で開催しました。

【委員会の開催日時等】

- ・日 時：平成 19 年 7 月 30 日 15:30~17:00
- ・開催場所：ホテルノースランド
2F ノースランドホール

現地視察の後、委員 5 名全員が出席しました。

委員会では、最初に各委員の紹介が行われ、委員の互選により委員長として名古屋大学大学院の辻本教授が選出されました。

その後、事務局から十勝川千代田実験水路の概要、実験の実施体制、実験研究長期計画（案）について説明し、活発な意見交換が行われました。

特に、平成 21 年度から開始予定の研究に対して、委員の皆様から多くの助言をいただきました。

なお、委員会は公開で行われました。

【委員会の議題】

- (1) 十勝川千代田実験水路の運営について
- (2) 実験研究長期計画について



写真-1 第1回委員会の様子



写真-2 現場視察の状況（実験水路を視察）

十勝川千代田実験水路 アドバイザー委員会の委員名簿 (平成 19 年 7 月 30 日現在)

区分	氏名	所属
委員長	辻本 哲郎	名古屋大学大学院 工学研究科 教授
	藤間 聡	室蘭工業大学 工学部 教授
	山田 正	中央大学 理工学部 教授
	黒木 幹男	北海道大学大学院 工学研究科 准教授
	関 博之	国土交通省北海道開発局建設部 河川計画課 課長

(敬称略)

十勝川千代田実験水路 アドバイザー委員会では次のような意見が出されました。

(1) 十勝川千代田実験水路における実験の運営体制について

- 実験水路及びその研究成果について、一般の方へのPRも含めて、公表していく仕組みを考えるべき。
- 共同研究者の選定にあたっては、チェック機能を含めて検討すること。
- 千代田実験水路における実験は、実験研究実施者だけでなく、開発局職員にも関わらせることにより、行政職員の技術力向上につながる。

(2) 実験研究長期計画について

- プロセスに関する研究であれば大学で行う研究と変わらない。また実物大で検証するという面しか見えずどのように行政にフィードバックするのかを明確にすべき。
- 研究方法の進歩等、新たな知見に対応できるようにすべき。
- 各テーマは、2～3年で本当に実施できるのか、実験の実施スケジュールの面からもチェックすべき。
- 「流木の発生機構と流木を伴う流下形態の研究」や「橋脚による流木閉塞メカニズムに関する研究」は、実物大で実験することでかなりの課題が解決できる。また、「アイスジャムに関する研究」は、北海道の特色がでている。
- 千代田実験水路を、市民の防災教育にも活用すべき。
- 長期計画において、研究テーマの緊急性を勘案し、実施する順番を取りまとめるべき。
- 「多自然型工法や保護工による河岸の保護機能の研究」は、他の研究テーマに比べて緊急性が高いのではないか。

今 後 の 予 定

- ◇ 今回の「十勝川千代田実験水路 アドバイザー委員会」の助言を踏まえて、十勝川千代田実験水路実験研究長期計画を取りまとめます。